

| | | | | |
|---|-------------------------|----------------|-------|--|
| 施策評価シート(平成27年度評価実施) | 担当部課名 | 市民福祉部 健康推進課 | 関連部課名 | |
| 基本目標 | 笑顔で安心して暮らせるまちづくり【健康・福祉】 | | | |
| 施策名 | 健康づくり | | | |
| 生涯を通じてすべての市民が健康で幸せに過ごし、健康寿命を延伸するため、生活習慣病や感染症の予防、食事・運動・心の健康などライフステージに合わせた各分野の健康づくりの推進、子育て支援や母子保健の充実に加えて、地域で健康を支え合う環境を整えるため、関係機関や地域が一緒になり、市全体で健康づくりを推進します。 | | | | |
| 施策が目指す蒲郡市の将来の姿 | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ● 市民一人ひとりが生活習慣病予防や個人でできる健康づくりの取り組みを実践し、地域で健康を支え合うことにより、健康寿命が延伸し、すべての市民が生涯を通じて健康で幸せに過ごしています。 ● 健やかな子どもの成長が感じられ、安心して子育てをしています。 | | | | |

◆具体化した施策の取り組み実績

1 市民主体による健康づくりの推進

| 項目 | 平成25年度実績 | 平成26年度実績 | 平成27年度計画 |
|-------------------|-----------|-----------|-----------|
| 健康づくりいっしょにやろまい会活動 | 参加者3,690人 | 参加者2,416人 | 参加者3,000人 |
| 健康マイレージ | — | 参加者64人 | 参加者100人 |
| ひとねる祭 | 来場者600人 | 来場者1,434人 | 来場者1,000人 |

2 生活習慣病・感染症予防の推進

| 項目 | 平成25年度実績 | 平成26年度実績 | 平成27年度計画 |
|-----------------|------------|------------|------------|
| がん検診 | 受診者20,455人 | 受診者20,119人 | 受診者21,000人 |
| 人間ドック | 受診者2,738人 | 受診者2,715人 | 受診者2,800人 |
| 特定保健指導 | 指導実人数62人 | 指導実人数39人 | 指導実人数100人 |
| 健康大学糖尿病予防学部 | 修了者97人 | 修了者64人 | 修了者120人 |
| 健康教室・講演会 | 参加者4,525人 | 参加者6,011人 | 参加者5,000人 |
| 学童期の健康スクール | — | 参加者7組 | 参加者15組 |
| 成人健康相談 | 相談者288人 | 相談者115人 | 相談者300人 |
| 成人用肺炎球菌ワクチン予防接種 | 接種者473人 | 接種者2,772人 | 接種者3,000人 |
| 麻疹風疹予防接種 | 接種者295人 | 接種者43人 | 接種者100人 |
| 高齢者インフルエンザ予防接種 | 接種者13,057人 | 接種者13,625人 | 接種者14,000人 |

3 母子保健の充実

| 項目 | 平成25年度実績 | 平成26年度実績 | 平成27年度計画 |
|-------------|------------|------------|------------|
| 妊婦・乳幼児健康診査 | 受診者10,500人 | 受診者11,880人 | 受診者12,000人 |
| 母子健康教室 | 参加者3,740人 | 参加者4,720人 | 参加者5,000人 |
| こんにちは赤ちゃん訪問 | 訪問数572件 | 訪問数567件 | 訪問数580件 |
| 乳幼児等予防接種 | 接種者13,220人 | 接種者13,781人 | 接種者13,800人 |
| 子育て相談 | 相談者648人 | 相談者725人 | 相談者800人 |
| 不妊治療費助成 | 助成者49組 | 助成者52組 | 助成者60組 |

4 食育の推進

| 項目 | 平成25年度実績 | 平成26年度実績 | 平成27年度計画 |
|---------------|-----------|-----------|-----------|
| 食生活改善推進員活動 | 参加者1,481人 | 参加者1,426人 | 参加者1,500人 |
| 離乳食教室 | 参加者400組 | 参加者460組 | 参加者470組 |
| 依頼健康教室(管理栄養士) | 参加者3,049人 | 参加者679人 | 参加者1,000人 |

5 こころの健康づくりの推進

| 項目 | 平成25年度実績 | 平成26年度実績 | 平成27年度計画 |
|----------|----------|----------|----------|
| 母子心理個別相談 | 相談件数67件 | 相談件数52件 | 相談件数70件 |
| 訪問指導(精神) | 相談者50人 | 相談者5人 | 相談者50人 |

◆評価指標

| 指標名 | 区分 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 将来目標 |
|-----------------------------|-----|--------|--------|--------|--------|
| 特定健診内臓脂肪症候群該当率 | 目標値 | | | 20%以下 | 15%以下 |
| | 実績値 | 20.4% | 21.9% | | 平成35年度 |
| がん検診精密検査受診率 | 目標値 | | | 80% | 100% |
| | 実績値 | 77.2% | 77.1% | | |
| 健康づくりを地域で推進する人数 | 目標値 | | | 150人 | 200人 |
| | 実績値 | 121人 | 119人 | | 平成35年度 |
| ゆったりした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合 | 目標値 | | | 71.0% | 80% |
| | 実績値 | 69.0% | 69.4% | | 平成35年度 |

◆指標の説明・考え方

| 指標名 | 説明・考え方 |
|-----------------------------|---|
| 特定健診内臓脂肪症候群該当率 | 内臓脂肪症候群該当者数／国保特定健診受診者数×100 |
| がん検診精密検査受診率 | (胃・肺・大腸・前立腺・乳・子宮がん) 各精密検査受診者合計÷要精密検査者合計 |
| 健康づくりを地域で推進する人数 | 健康づくり食生活改善推進員数+健康づくりいっしょにやろまい会会員数 |
| ゆったりした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合 | 3歳児健康診査受診時のアンケートでの母親の回答 |

◆指標の分析

生活習慣病の原因である内臓脂肪症候群の該当率の減少は生活習慣病の発症の予防につながることから、特定健診結果での内臓脂肪症候群該当率を指標としており、保健指導と予防事業の充実により減少傾向にある。がんを早期に発見し早期の治療に結びつけるため、受診率の向上とともに、要精密検査者が確実に検査を受け、要医療者には早期の治療を促していく必要があると考え、精密検査受診率を指標とし、要精検受診率の向上を図っている。健康を地域で支えるため、健康づくりを地域で推進する市民が増えることが必要であると考え、推進員の人数を指標とした。市の育成支援などにより、年々会員数も増加傾向にあり、活動も活発になっている。また、母親が地域で安心して子育てができる指標として子どもと過ごす時間を捉え、母親の子育て支援を推進している。

蒲郡市の特定健康診査の結果では内臓脂肪症候群該当者が多く、医療受診の状況では、生活習慣病による受診者、透析患者数が多い。健康診査、がん検診や人間ドック等の受診者を増やすとともに、保健指導対象者や要精検者については適切な対応を促し、早期の生活習慣病予防対策と若い頃からの健康づくり、そして市民が主体となった健康づくりの取り組みが重要となる。また、乳幼児予防接種は、接種者の便宜を図るため、平成26年度からすべての予防接種を個別接種化した。また一部の予防接種においては接種率が低いものも見受けられるため、接種勧奨などを積極的に行い接種率の向上を図る必要がある。安心した子育ての推進のため、こどもには赤ちゃん訪問の充実や心理個別相談、妊娠期からの継続した支援体制をとり保健師による個別支援の充実を図っている。

今後の展開 平成25年度に策定した「健康がまごおり21第2次計画」を推進し、10年後に向けた健康づくりのための具体的な数値目標を掲げ、その実現に向けた取り組みを展開していく。また、がん検診・ヤングエイジ健診の自己負担金をワンコイン化(500円)し、ブック形式の受診票を発行するなど、より受診しやすい環境を整備するとともに、特定健診後の特定保健指導を健康推進課で積極的に実施し、充実させている。今後は、若い年齢のがん検診受診者や特定保健指導の利用を増やしていくとともに、糖尿病などの生活習慣病予防の対策として実施している「いきいき市民健康づくり事業」を今後も推進し、健康づくりを全庁的に進める。また、平成26年度に実施した「体重測定100日チャレンジ！」など、事業をきっかけにして市民の健康意識を向上させ、生活習慣の改善及び生活習慣病予防につなげるポピュレーションアプローチの取り組みを推進していく。

| | | |
|------|-----------|---|
| 課長評価 | 構成事業の進捗状況 | B: おおむね計画どおり進行している。 |
| | 施策の進め方 | A: 現状のままでよい。 |
| | コメント | 具体的な数値目標を設定した「第2次計画」に沿って健康づくりを進めます。健康寿命の延伸と健康格差の縮小という目標のために、市民の健康意識の向上を図る取り組みを全庁的に推進していく。 |

| | | |
|------|---------|---|
| 部長評価 | 施策の進捗状況 | A: 目指す将来像実現に向けて順調に進行している。 |
| | コメント | <p>医療費や介護費など社会保障費の上昇と消費税の引き上げで市民の台所も市の財政状況も大変厳しい。加えて本市の高齢化率は年々上昇している。こうした状況の中、第四次総合計画の基本目標にある「笑顔で安心して暮らせるまちづくり」を実現するため、平成25年度から平成27年度までの3ヵ年事業として、行政と市民・関係機関が連携し「蒲郡いきいき市民健康づくり事業」を実施するなど、市も全庁的に市民の健康づくりに取り組んでいる。具体的には、健康大学糖尿病予防学部を始め、脳トレ筋トレ実践教室、体重測定100日チャレンジ、健康マイレージの導入など、健康がまごおり21第2次計画(平成26年度から10年計画)の目標である市民の健康意識の向上、生活習慣の改善、健康寿命の延伸に向け、施策を積極的かつ着実に推進している。</p> |